

ガボン共和国月報（2014年11月）

2014年11月号
在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 2014年上院議員選挙実施日程の決定
- 野党によるデモ活動の実施
- UNOCA当地代表による与野党対話促進の働きかけ
- ボンゴ大統領による労使双方との対話促進

【外政】

- ボンゴ大統領によるコートジボワール公式訪問
- ボンゴ大統領による第15回仏語圏国際機関首脳会合への参加

【経済】

- 「ビジネス環境の現状2015」(Doing Business 2015)の発表（ガボン第144位）
- IMF4条協議ミッション報告書の発表
- ボンゴ大統領による中古車禁輸措置の見直し

【内政】

1 国家社会協定委員会委員長の任命

2日、アリ・ボンゴ大統領はセラファン・ンダオPDS党首（野党）を国家社会協定委員会委員長に任命した。同委員会は、同大統領が複数の野党と協力して実現を目指す社会協定に係る政策提言及び実施監督を行う。（3日付UN）

2 一部の労働組合による国民議会に対する抗議

10日、主に教員及び医療従事者で構成される労働組合ARESGAは、国民議会に対して、最低労働賃金の86,000CFAフラン（約130ユーロ）から300,000CFAフラン（約457ユーロ）への上昇、公務員に対する全ての支払いの速やかな実施、能力を基準としない勤勉手当の給付等の要望書を提出した。（11日付GA）

3 2014年上院議員選挙実施日程の決定

11日、2014年12月13日に実施が予定されている上院議員選挙の日程が閣議において決定したところ、以下のとおり。（11日付GA）

11/22 立候補締め切り

12/10-12 選挙キャンペーン期間

12/13 投票日（7時投票開始、18時終了）

4 野党によるデモ活動

13日、リーブルビルにおいて、アリ・ボンゴ大統領の出生届につき裁判所に異議を申し立てようとした野党のデモ参加者達と警察が衝突。治安当局はデモ隊を止めるために催涙弾を発射。今回の野党デモには、ピン前AU委員長やンドン元首相など、野党の重鎮も参

加していた。なお、野党主催者側からは逮捕者やけが人が出たとの発表はない。(14日付AFP)

5 ボンゴ大統領による労使双方との対話促進

17日、アリ・ボンゴ大統領は、今般ガボン経済の成長が各セクターにおける度重なるストライキによって鈍化している事態を受けて、大統領府において、労使団体双方の代表と対話を行った。また、右事態の打開に向け、ボンゴ大統領は、オナ・オンド首相に対して、官民セクターにおける集団交渉を開始するよう命じた。(18日付GR)

6 UNOCA当地代表による与野党対話促進の働きかけ

17日、オナ・オンド首相と会談した際、バッテリー国連中部アフリカ事務所(UNOCA)当地代表は、ガボンの平和を脅かす可能性がある現在の状況についてガボン政府の注意を喚起し、与野党における対話の重要性を主張した。また、同代表は、1990年の国民会議で獲得した成果(当館注：複数政党制)を強固なものにし、協議を通じてガボンや中部アフリカ地域が抱える問題の解決策を見出すために、全政党が協議に参加することを望む旨述べた。(21日付UN)

7 国民対話委員会創立に向けたオナ・オンド首相による労使双方との協議

19日、アリ・ボンゴ大統領の指示を受け、オナ・オンド首相は、他の関係閣僚と共に、労使双方の代表者と協議を行い、公務員の新たな給料形態や能力評価基準に係る提言や新労働基準法に係る協議等を担う国民対話委員会の創設を発表した。(21日付UN)

【外政】

1 ガボン・カタール関係(ボンゴ大統領による2014年Doha Goalsへの参加)

アリ・ボンゴ大統領は、3-5日にカタール・ドーハで開催された第3回Doha Goalsに、タミーム・ビン・ハマド・アール=サール・カタール首長の招待客として参加した。この機会に、同大統領は、スポーツはアフリカ各国に輝くチャンスを与える地域統合の一手段である旨述べ、アフリカにおけるスポーツ振興の重要性を強調した。(3日付LG)

2 ボンゴ大統領による第6回世界国立公園会議への参加

アリ・ボンゴ大統領は、14-19日にシドニーで開催された世界国立公園会議に名誉議長として参加し、自然遺産の保護を強化するため、ガボンは、今後、領海及びEEZの23%を占める海洋公園を創設する旨発表した。なお、出席者は約5,000名に上り、2020年までに陸上生物種17%及び海洋生物種10%を最低限保護する世界目標を達成するためのロードマップを策定した。(14日付PR)

3 ボンゴ大統領による環境に関する国際賞受賞

18日、英国議会で開催された式典において、Chartered institution of water and environmental management (CIWEM)は、アリ・ボンゴ大統領に対しグリーン・リボン政治賞を授与した(同大統領の名代としてネルソン・メソン森林相が出席)。審査員長は、受賞の理由として、ボンゴ大統領は環境保護を優先政策に挙げる稀に見る国家元首である点、持続可能な開発及び炭素排出を抑制した開発を重視するために開発戦略の見直しを実施し

た点を挙げ、ボンゴ大統領の環境保護に向けた強いリーダーシップは、先進国及び途上国に最も必要なものである旨述べた。(21日付UN)

4 ボンゴ大統領による若者・女性起業家世界会合への参加

21日、アリ・ボンゴ大統領は、アルファ・コンデ・ニジェール大統領及びジョー・バイデン副大統領と共に、モロッコ・マラケシュで開催された若者・女性起業家世界会合に参加した。その際、ボンゴ大統領は、中小企業の促進に向けた政府の重要な役割として、最適な指標の提供、行政手続きの効率性と一貫性の保証、及び同手続きの迅速化を挙げた。(21日付UN)

5 ガボン・世銀関係(会計監査院に対する世銀による無償資金供与)

21日、ガボン政府は、当地世銀事務所との間で、会計監査院の財政管理能力向上に向けた無償資金1億7,500万CFAフラン(35万米ドル)の供与に係る合意文書に署名した。本無償資金によって、会計監査院の組織及び機器の近代化、同院の能力監査の実施、及び同院と予算問題に関心を持つ国会や市民社会との関係強化が実施される予定。(22-23日付UN)

6 オナ・オンド首相による第2回トルコ・アフリカ協力サミットへの参加

19-21日、ダニエル・オナ・オンド首相は、赤道ギニア・マラボで開催された第2回トルコ・アフリカ協力サミットに参加した。本会議のテーマは「持続可能な開発及びアフリカ統合の強化に向けた新しいパートナーシップ」であり、トルコ・アフリカ・パートナーシップの共同宣言及び「2015-2018行動計画」が採択された。なお、トルコ・ガボン二国間関係も良好であり、ウィン・ウィンの関係を念頭に、ガボンによるトルコ軍艦2隻の購入、査証の相互免除、トルコ航空による両国首都間の週7便運航の許可等複数の二国間協定が締結されている。(24日付UN)

7 ボンゴ大統領によるコートジボワール公式訪問

26-28日、アリ・ボンゴ大統領は、コートジボワールを公式訪問し、二国間関係の更なる強化を図った。両国政府は、今次機会に、外交、軍事、治安、経済、農業及び教育に係る27の協定に署名した。二国間の貿易額は、直近5年間で、400億CFAフランから10倍の4,000億CFAフランに増加しており、近年の二国間関係の緊密化を象徴している。(28日付UN)

8 ボンゴ大統領による第15回仏語圏国際機関首脳会合への参加

29日、アリ・ボンゴ大統領は、ダカールで開催された第15回仏語圏国際機関(OIF)首脳会合に参加した。同会合のテーマは「平和及び発展の媒介者となる仏語圏の若者・女性」であり、同大統領は、演説の中で、仏語圏をひとつの経済・自由貿易、文化及び科学圏にするよう各加盟国に働きかけた。また、同会合において、ディウフ元セネガル大統領を継ぐOIF事務局長にハイチ出身の元カナダ総督ミカエル・ジャン候補が選出された。(12月1日付UN)

【経済】

1 「ビジネス環境の現状2015」の発表（ガボン第144位）

10月29日に世銀が発表した報告書「ビジネス環境の現状2015」(Doing Business 2015)によると、ガボンは全189カ国中第144位（昨年第138位）で、アフリカでは全33カ国中第21位、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）では全10カ国中1位であった。同報告書は、小規模投資家の保護、株主への企業の事業関連情報の公開、電子システム導入による納税の簡素化において昨年に比して改善が見受けられるとしたが、登記手続きが複雑かつ完了までに長時間を要すると評した。（5日付UN）

2 IMF4条協議ミッション報告書の発表

同報告書は、石油生産の落ち込みが予想されるものの、今後5年間の中期的な成長率予測は約6%と堅調であり、右成長は、公共投資、非石油天然資源、及びサービス部門からもたらされる、食品産業、鉱物資源産業、木材加工業が非石油部門の成長を支えると予測している。また、ガボンの短期・中期の経済リスクとして、予算政策が厳格でないことと、予算実施能力が低いことが挙げられている。（11日付UN）

3 ボンゴ大統領による中古車禁輸措置の見直し

19日、アリ・ボンゴ大統領は、オナ・オンド首相及び関係閣僚に対し、昨年閣議決定し、新車を購入する手段を持たない国民に不利益を課す3年以上の中古車の禁輸措置を見直すよう指示を出した。（19日付UN）

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース)